



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月11日

上場会社名 株式会社 東天紅 上場取引所 東
 コード番号 8181 URL http://www.totenko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久
 問合せ先責任者 (役職名)総務部長 (氏名)福岡 廉雄 (TEL)03(3828)6272
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	4,946	8.2	19	—	△1	—	△15	—
24年2月期第3四半期	4,569	△8.3	△268	—	△288	—	△371	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	△0.60	—
24年2月期第3四半期	△14.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	12,731	9,071	71.2
24年2月期	12,721	9,087	71.4

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 9,071百万円 24年2月期 9,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	0.00	—		
25年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	6.4	120	—	100	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年2月期3Q	25,728,716株	24年2月期	25,728,716株
25年2月期3Q	36,049株	24年2月期	35,958株
25年2月期3Q	25,692,739株	24年2月期3Q	25,693,206株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による影響からの回復はみられたものの、欧州債務危機や円高の長期化など、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

こうした状況のもとで、当社は、セールスの徹底による宴会売上の強化に努めてまいりました。

「LUCIS (ルーキス)」「Coeur et Coeur (クーレクール)」「LA VIE CLAIR (ラヴィ クレール)」などの婚礼や婚礼二次会の集客増を目指し、販促を強化いたしました。

次に、30年目を迎える上海蟹フェアを実施し、NO. 1ブランドとして珍重されている陽澄湖産の安全・安心な上海蟹を今年もご提供することにより、集客力及び客単価のアップに努めました。

さらに、改装店舗である「CHIBA SKY WINDOWS 東天紅」、「新宿店」、「横浜桜木町ワシントンホテル店」、「名古屋店」、「姫路・山陽百貨店東天紅」の各店はおお客様にご好評をいただき、改装効果もあり、好調に推移いたしました。

そして平成24年3月、「JACK大宮店」の改修工事を実施し、集客力の強化を図りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比8.2%増の49億4,619万円、営業利益は1,968万円（前年同四半期は営業損失2億6,820万円）、経常損失は123万円（前年同四半期は経常損失2億8,817万円）、四半期純損失は1,545万円（前年同四半期は四半期純損失3億7,152万円）となりました。

また、当社は、創業より51年を経過した「上野店」を、現店舗の隣接地に新店舗として建設することを決定いたしました。あわせて新店舗建設後に現上野店の土地建物を譲渡することも決定いたしました。新店舗は、高い耐震性能、環境性能を備え、営業体制の強化及び店舗運営の効率化を目的とし、今後の当社成長戦略に欠かせない旗艦店として建設いたします。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ998万円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が四半期純損失の計上並びに土地の購入による支出等により減少となったものの、売掛金が売上の季節変動により増加したため流動資産が1,679万円の増加、固定資産は土地の購入による増加があったものの、有形固定資産の償却並びに差入保証金の返還等により680万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ2,684万円増加いたしました。

これは主に、借入金が2,482万円、買掛金が売上変動により4,712万円増加したものの、賞与引当金が5,240万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ1,685万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失1,545万円を計上したことなどによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	742,898	728,196
売掛金	254,233	284,722
商品及び製品	7,967	6,932
原材料及び貯蔵品	68,293	84,061
その他	113,027	99,307
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,186,120	1,202,919
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,440,044	1,368,591
土地	7,897,327	8,000,415
その他(純額)	270,699	239,160
有形固定資産合計	9,608,071	9,608,167
無形固定資産	26,396	14,777
投資その他の資産		
差入保証金	1,706,889	1,701,365
投資有価証券	83,475	88,181
その他	111,636	117,168
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,901,401	1,906,114
固定資産合計	11,535,869	11,529,059
資産合計	12,721,989	12,731,979
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,667	200,797
短期借入金	1,257,875	1,189,350
リース債務	11,269	11,269
未払法人税等	34,680	21,800
賞与引当金	68,400	16,000
その他	447,312	480,805
流動負債合計	1,973,205	1,920,022
固定負債		
長期借入金	514,000	607,350
リース債務	35,259	26,807
繰延税金負債	3,046	2,263
再評価に係る繰延税金負債	351,284	351,284
退職給付引当金	489,301	497,840
資産除去債務	40,200	40,200
長期未払金	152,818	140,194
その他	75,000	75,000
固定負債合計	1,660,909	1,740,940
負債合計	3,634,115	3,660,962

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	713,451	697,993
自己株式	△8,429	△8,446
株主資本合計	9,838,802	9,823,326
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,477	4,094
土地再評価差額金	△756,405	△756,405
評価・換算差額等合計	△750,927	△752,310
純資産合計	9,087,874	9,071,016
負債純資産合計	12,721,989	12,731,979

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	4,569,807	4,946,194
売上原価	2,240,392	2,315,218
売上総利益	2,329,414	2,630,976
販売費及び一般管理費	2,597,616	2,611,290
営業利益又は営業損失(△)	△268,202	19,685
営業外収益		
受取利息	52	67
受取配当金	3,621	1,829
未回収商品券受入益	1,103	1,123
その他	5,476	4,568
営業外収益合計	10,253	7,587
営業外費用		
支払利息	27,984	26,107
その他	2,243	2,400
営業外費用合計	30,228	28,508
経常損失(△)	△288,177	△1,235
特別損失		
固定資産除却損	1,583	2,327
店舗閉鎖損失	176	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40,200	—
災害による損失	29,765	—
特別損失合計	71,726	2,327
税引前四半期純損失(△)	△359,904	△3,562
法人税、住民税及び事業税	11,617	11,895
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	11,617	11,895
四半期純損失(△)	△371,522	△15,458

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

平成24年12月17日開催の取締役会において、当社上野店に隣接する当社保有の土地に新店舗を建設する旨および、当社保有の上野店土地建物を東京建物株式会社に対し譲渡することに関する基本協定を締結する旨を決議いたしました。

1. 新店舗の建設

当社は、創業より51年を経過した上野店を、今後の成長戦略に欠かせない旗艦店として、営業体制の強化及び店舗運営の効率化を目的とし、高い耐震性能、環境性能を備える新店舗の建設を決定いたしました。

なお、新店舗の規模、事業費、事業スケジュール等については未定であります。

2. 上野店土地建物の譲渡に関する基本協定締結について

(1) 本協定締結の理由

当社は、資産効率の向上及び新店舗建設による営業体制の強化を目的として、当社保有の上野店土地建物を東京建物株式会社に譲渡すべく、本協定を締結することといたしました。

なお、上野店土地建物の売買契約の締結日、譲渡日程、譲渡金額等については未定であります。

(2) 譲渡資産の内容

資産内容	当社上野店土地及び建物	
	土地 (2,985.37㎡)	帳簿価額3,654百万円 (平成24年2月末現在)
	建物 (9,682.79㎡)	
	建物 (1,374.45㎡)	帳簿価額 857百万円 (平成24年2月末現在)
所在地	東京都台東区池之端一丁目	
現況	当社上野店	

(3) 譲渡先の概要

名称	東京建物株式会社
所在地	東京都中央区八重洲一丁目9番9号 東京建物本社ビル